

# I 平成 23 年度 事業報告

平成 23 年度は、浄化槽の普及促進及び法定検査を実施するとともに、浄化槽に関する技術の向上及び知識の普及並びに浄化槽の施工・維持管理の適正化を図り、もって生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与することを目的に、浄化槽の法定検査や普及啓発などを推進した。

法定検査については、11 条検査の全国平均並みの受検率 (30%) を早期に達成できるよう、昨年度に引き続き精力的に実施したほか、マスコミによる法定検査受検の P R、富山県及び富山市からの受検促進等のための委託業務を行った。

また、新聞紙上で「浄化槽の日」特集記事を掲載、さらには、浄化槽ミニチュアモデルを製作して「とやま環境フェア 2011」などで浄化槽の普及に努めたほか、県内 4 地区で「浄化槽ミニシンポジウム」を開催した。

さらに、平成 25 年度からの公益社団法人移行に向け、委員会を設置して本格的な検討を進めるとともに、支部や青年部会への支援を行ったほか、維持管理業者や指定採水員等の技術力向上を目的に技術講習会や研修会などを行った。

事業概要は、以下のとおりです。

## 1 会員の状況

平成 23 年度における会員の異動状況は下表のとおりであった。

| 区分    | 平成 23 年 3 月末 | 異動内訳 |     | 平成 24 年 3 月末 |
|-------|--------------|------|-----|--------------|
|       |              | 入 会  | 退 会 |              |
| 正 会 員 | 167          | 0    | 9*  | 158          |
| 賛助会員  | 14           | 0    | 0   | 14           |
| 計     | 181          | 0    | 9   | 172          |

\*退会の内訳：工事業者 7、保守点検業者 2

## 2 事業の実施結果

### (1) 浄化槽整備促進事業

ア 平成 23 年度における浄化槽の新規設置基数及び浄化槽機能保証制度の登録申請数は、次のとおりでした。

新規設置基数 3 9 3 基 (対象期間：平成 23 年 1 月～12 月)

・国庫補助対象基数 2 2 9 基

・浄化槽機能保証制度申請数 2 4 3 件

イ 既存単独浄化槽から合併浄化槽への転換が図られるよう啓発パンフレットを作成・配布した。転換基数は 78 基であった。

### (2) 保守点検適正化推進事業

浄化槽設置個所に保守点検契約済証(ワッペン)を貼付し、保守点検の確実な実施に努めた。

・貼付枚数 49,872 枚 (浄化槽設置基数 60,379 基の 82.6%)

### (3) 法定検査推進事業

#### ア 法定検査の実施状況

浄化槽法第7条及び第11条に規定する検査については、16,514基実施した。

##### ■法定検査の目標達成率

| 検査種別 |       | 検査目標基数 | 検査基数   | 目標達成率(%)    |
|------|-------|--------|--------|-------------|
| 7条   |       | 500    | 415    | 83.0        |
| 11条  | 検査員検査 | 15,500 | 13,605 | 87.8        |
|      | 採水員検査 | 4,000  | 2,494  | 62.4        |
| 合計   |       | 20,000 | 16,514 | <u>82.6</u> |

##### ■法定検査実施率

| 検査種別 |  | 設置基数   | 検査基数   | 検査実施率(%)    |
|------|--|--------|--------|-------------|
| 7条   |  | 415    | 415    | 100         |
| 11条  |  | 59,964 | 16,099 | 26.8        |
| 合計   |  | 60,379 | 16,514 | <u>27.4</u> |

#### イ 口座振替による検査の継続・定着

平成23年8月から検査手数料の支払い方法に口座振替を導入するキャンペーンを展開し、検査依頼手続きを簡略化して法定検査の継続や定着化等に努めた。

新たに260件の口座振替手続きを完了し、QUOカード(500円分)を進呈した。

#### ウ 公正適確な法定検査の推進

検査結果が「不適正」と判定された浄化槽を対象に、検査実施の3箇月後に改善状況等の確認調査を実施した。その結果を県、厚生センター等へ報告し、不適正浄化槽の改善に努めた。

##### ■確認調査結果と対応

| 不適正<br>確認件数 | 不適正に対する対応状況(件) |       |     |
|-------------|----------------|-------|-----|
|             | 改善済            | 一部改善* | 未実施 |
| 38          | 19             | 3     | 16  |

\* 暫定的な改善対応を含む。

#### エ 法定検査の信頼性確保

- ① 平成23年7月12日に精度管理委員会を開催し、検査の適格性、総合判定の客観性、2次検査の実施、採水のクロスチェック方法について審査し、信頼性の確保に努めた。
- ② 平成23年11月10日、11日に愛知県で開催された指定検査機関東海北陸ブロック協議会の研修会に検査員2名が参加するとともに、研修内容を他の検査員に報告し周知を図った。また、協会内部で検査員の研修会と勉強会を定期的で開催した。
- ③ 平成23年12月から平成24年3月まで、検査時における検査員の対応状況等を把握するため受検者にハガキアンケートを実施した。

アンケート結果は平成24年度に取りまとめ、今後の検査の信頼性確保に役立てる。

## オ 指定採水員研修会の開催

平成 24 年 2 月 8 日に指定採水員研修会を開催し、知識と技術の向上に努めた。指定採水員 75 名が参加した。

## (4) 適確な情報の提供・普及事業

### ア 適確な情報の収集・提供

ホームページを通じて広く一般に対し、浄化槽のしくみや特徴、補助制度、維持管理等について周知するとともに、平成 23 年 10 月から「年間行事予定表」及び「いわゆる放流同意問題について」を追加し、利便性の向上に努めた。

また、浄化槽管理者（設置者）や県民からの浄化槽に関する相談等に対応するため、相談電話を設置して専門的知識を持つ検査員や職員が対応した。

### イ 普及啓発用資材の作成・配布・PR

#### ① 浄化槽のミニチュアモデルの製作

浄化槽のしくみについての理解促進に役立てるために、平成 23 年 10 月に浄化槽ミニチュアモデルを製作した。

#### ② 「とやま環境フェア 2011」に出展（青年部会担当）

平成 23 年 10 月 22 日、23 日に富山産業展示館（テクノホール）で開催された「とやま環境フェア 2011」に出展した。青年部会が企画運営を行い、浄化槽のミニチュアモデルやパネル展示、浄化槽内にいる微生物観察コーナーなどを設置して浄化槽の普及啓発を行った。当協会ブースにはおよそ 800 名が来場した。

#### ③ 市町村での展示会（ミニチュアモデル、パネルの貸出等）

平成 23 年 8 月 28 日に黒部市で開催された「アクアパークフェスティバル 2011」に浄化槽カットモデルやパネルを展示し、浄化槽の普及啓発を行った。

#### ④ 「浄化槽の日」の広報等

10 月 1 日の「浄化槽の日」と前日に、地元新聞 2 社に浄化槽に関する特集記事を掲載し、浄化槽の普及啓発に努めた。また、毎週水曜日午前 9 時のニュース時に、ラジオによる浄化槽の特徴等を紹介するスポット広告を行った。

- ・ 9 月 30 日・・・富山新聞
- ・ 10 月 1 日・・・北日本新聞
- ・ 通年(毎週水曜日午前 9 時)・・・KNB ラジオ

### ウ 出前講座の実施

浄化槽の正しい知識の普及や浄化槽の適確な情報を提供する出前講座を 3 回実施した。

### エ 「富山・浄化槽ミニシンポジウム」の開催

県内 4 地区において、浄化槽に関するミニシンポジウムを次のとおり開催した。一般県民、行政関係者、地元議員等 301 名の参加があった。

## ■ミニシンポジウムの開催状況

| 地区  | 月日       | 時間          | 場所            | 参加者数 |
|-----|----------|-------------|---------------|------|
| 高岡  | 8月30日(火) | 10:00～12:00 | ウイング・ウイング高岡   | 84   |
| 砺波  |          | 14:00～16:00 | 砺波市職業能力開発センター | 63   |
| 新川  | 8月31日(水) | 10:00～12:00 | 新川文化ホール       | 82   |
| 富山  |          | 14:00～16:00 | 富山国際会議場       | 72   |
| 合 計 |          |             |               | 301人 |

### 【演題・講師】

- ・演題1「浄化槽の普及促進に向けて」  
富山県生活環境文化部環境政策課廃棄物対策主査 森 友子 氏
- ・演題2「元気なまちづくりに向けた生活排水処理施設のあり方（富山県版）」  
（財）日本環境整備教育センター調査・研究グループリーダー 国安 克彦 氏
- ・演題3「東日本大震災からの浄化槽の復旧」  
（社）福島県浄化槽協会専務理事 嶋原 己八 氏

## （５） 協会業務の推進事業

### ア 総会・理事会・委員会の開催等

- ① 総会、理事会、委員会の開催  
別紙のとおり開催した。
- ② 機関誌の発行等  
機関誌「浄化槽とやま」を平成23年8月（70号）及び平成24年1月（71号）に発行し、会員及び行政機関に配布した。ホームページにも掲載した。  
また、全浄連が年4回発行する「全浄連ニュース」を会員及び行政機関に配布した。
- ③ 全国浄化槽技術研究集会に参加  
【日時】平成23年10月12日、13日  
【場所】茨城県土浦市 参加者7名

### イ 公益社団法人移行への対応

公益社団法人移行委員会を設置し、平成25年度から公益社団法人へ移行するための定款変更（案）及び諸規程（案）について検討を行った。同時に、任意機関（委員会、支部及び青年部会）の取扱いを決定し、平成24年5月の通常総会へ提出する成案を取りまとめた。

### ウ 支部活動への支援

支部が実施した浄化槽設置台帳整備や普及啓発事業等に助成した。

### エ 青年部会への支援

青年部会が実施した「富山にecoとプロジェクト 吉本多香美さんと一緒にボランティア清掃」及び「とやま環境フェア2011」への出展活動に助成した。

- ① 「富山にecoとプロジェクト 吉本多香美さんと一緒にボランティア清掃」  
・期日 平成23年8月21日

- ・場所 富山市富岩運河環水公園
- ・清掃活動と講演を行った。一般県民や青年部会員等約 120 名が参加した。  
講演 演題：「ふるさと富山の環境と私」、講師：吉本 多香美 氏
- ② 「とやま環境フェア 2011」  
「2 事業の実施結果（4）イ②」のとおり実施した。

## オ 東日本大震災への支援

- ① 「見舞金」及び「義捐金」  
全浄連から協力要請のあった「被災地会員団体支援のための見舞金」について、当協会から 10 万円を拠出し、4 月 6 日に全浄連に送金した。（全浄連では 6 月 2 日に該当県の会員団体に配分し送金）  
また、「被災地の災害復旧に要する費用に供するための義捐金」については、会員（企業・個人）から寄せられた総額 70 万円を 5 月 20 日に全浄連へ送金した。（全浄連では 6 月 9 日に全国の会員団体分と合わせ日本赤十字社に送金）
- ② 福島県への現地調査  
平成 23 年 4 月 24 日に役員 2 名が福島県を訪問し、（社）福島県浄化槽協会の案内で現地を視察した。5 月 17 日の理事会において被災状況の報告を行った。

## カ 協会イメージアップ・IT化の推進

- ① 検査員の作業服を一新し、背面や腕部分に協会ロゴマークやジョーカ君を印刷して浄化槽協会をPRした。
- ② 相談室にLANシステムを構築し、パソコンを使った研修等ができるよう改善した。

## （6）受託業務

### ア 浄化槽台帳整備業務事業（県委託費 8,000 千円）

- ・ 県の緊急雇用創出基金事業として 5 名を採用し、浄化槽の設置場所を電子地図のココデス（COCODES）に入力し、浄化槽台帳に地図情報を追加した。
- ・ 県や厚生センター等で使用する浄化槽管理システムの改修業務を行った。

### イ 浄化槽法定検査受検・適正管理拡大事業（県委託費 16,000 千円）

県の緊急雇用創出基金事業として法定検査普及員 7 名を採用し、家庭用浄化槽設置者を中心に戸別訪問を行い、浄化槽の正しい知識や法定検査受検の必要性、維持管理の重要性等について説明した。

また、設置状況不明の浄化槽については、現地確認を行った。

- ① 11 人槽以上  
県等（県環境政策課、厚生センター及び富山市保健所）と連携を図り、県環境政策課長名又は富山市保健所長名による受検案内書を送付の上、戸別訪問等を行った。
- ② 10 人槽以下の合併処理浄化槽（補助有）  
県環境政策課及び関係市町担当課と連携を図り、受検案内書を送付の上、戸別訪問等を行った。
- ③ 10 人槽以下の合併処理浄化槽（補助無）  
県環境政策課及び厚生センター、富山市又は高岡市と連携を図り、受検案内書を送

付の上、戸別訪問等を行った。

④ 10人槽以下の単独処理浄化槽

採水員検査の受検数増大を図るため重点地区を設定し、環境政策課長名の受検案内書を送付の上、戸別訪問等を行った。

ウ 浄化槽管理システムのデータ及びシステム維持管理等業務（県委託費 848千円）

浄化槽管理システムにおける新規データの入力やデータの修正、システム障害時の復旧作業やデータの保持を行った。

エ 浄化槽の適正管理推進業務（県委託費 759千円）

① 浄化槽の設置及び維持管理の適正化推進業務

浄化槽の適正な維持管理啓発用冊子を作成し、浄化槽管理者等へ配布した。

② 浄化槽保守点検技術者の研修事業

浄化槽管理士等保守点検技術者を対象にした「浄化槽管理士技術講習会」を次のとおり2地区で開催した。

浄化槽管理士185名（うち会員179名、非会員6名）、行政等20名の合計205名が受講した。

■浄化槽管理士技術講習会の開催状況

| 地区 | 日時                      | 場所                  | 受講者数 |
|----|-------------------------|---------------------|------|
| 富山 | 11月8日(火)<br>13:30～16:30 | 富山産業展示館<br>(テクノホール) | 120  |
| 高岡 | 11月9日(水)<br>13:30～16:30 | 高岡テクノドーム            | 85   |
| 合計 |                         |                     | 205人 |

【演題・講師】

・演題1「浄化槽行政の動向について」

富山県生活環境文化部環境政策課主任 長谷 哲也 氏

・演題2「感染防止のために知っておきたい細菌のこと・ウイルスのこと」

富山県衛生研究所主任研究員 木全 恵子 氏

・演題3「コンパクト型浄化槽の維持管理のポイントについて」

富山地区：(株)ハウステック 磯山 謙一 氏

高岡地区：ニッコー(株) 北條 綾子 氏

③ 浄化槽維持管理等技術研修事業

浄化槽の適正な維持管理確保を指導する厚生センター職員及び市町村の浄化槽担当者を対象とする実地研修を17回実施した。

④ 法定検査入力業務

法定検査の情報入力を実施した。

オ 浄化槽に関するデータ入力・修正業務（富山市委託費 550千円）

浄化槽法に係る設置届のデータや法定検査結果のデータ等の入力を行うとともに、システムサポートを行った。

## II 収支決算

### 総括表

#### (1) 収支計算書総括表

(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

(単位：円)

| 科 目          | 合 計         | 一 般 会 計     | 検 査 特 別 会 計 |
|--------------|-------------|-------------|-------------|
| I 事業活動収入     |             |             |             |
| 1 事業活動収入     |             |             |             |
| (1) 会費・入会金収入 | 9,064,700   | 9,064,700   |             |
| (2) 事業収入     | 139,952,472 | 26,680,472  | 113,272,000 |
| (3) 雑収入      | 263,272     | 252,505     | 10,767      |
| 事業活動収入計      | 149,280,444 | 35,997,677  | 113,282,767 |
| 2 事業活動支出     |             |             |             |
| (1) 事業費支出    | 151,909,351 | 35,667,168  | 116,242,183 |
| (2) 管理費支出    | 2,664,773   | 2,664,773   | 0           |
| 事業活動支出計      | 154,574,124 | 38,331,941  | 116,242,183 |
| 事業活動収支差額     | △ 5,293,680 | △ 2,334,264 | △ 2,959,416 |
| II 投資活動収支の部  |             |             |             |
| 1 投資活動収入     |             |             |             |
| (1) 特定資産取崩収入 | 2,925,980   | 471,420     | 2,454,560   |
| 投資活動収入計      | 2,925,980   | 471,420     | 2,454,560   |
| 2 投資活動支出     |             |             |             |
| (1) 特定資産取得支出 | 5,071,564   | 460,000     | 4,611,564   |
| 投資活動支出計      | 5,071,564   | 460,000     | 4,611,564   |
| 投資活動収支差額     | △ 2,145,584 | 11,420      | △ 2,157,004 |
| III 財務活動収支の部 |             |             |             |
| 1 財務活動収入     | 0           | 0           | 0           |
| 2 財務活動支出     | 0           | 0           | 0           |
| 財務活動収支差額     | 0           | 0           | 0           |
| 当期収支差額       | △ 7,439,264 | △ 2,322,844 | △ 5,116,420 |
| 前期繰越収支差額     | 5,785,089   | 1,850,257   | 3,934,832   |
| 次期繰越収支差額     | △ 1,654,175 | △ 472,587   | △ 1,181,588 |

## (2) 正味財産増減計算書総括表

(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

(単位：円)

| 科 目           | 合 計          | 一般会計        | 検査特別会計      |
|---------------|--------------|-------------|-------------|
| I 一般正味財産増減の部  |              |             |             |
| 1. 経常増減の部     |              |             |             |
| (1) 経常収益      |              |             |             |
| 会費・入金収入       | 9,064,700    | 9,064,700   |             |
| 事業収入          | 139,952,472  | 26,680,472  | 113,272,000 |
| 雑収入           | 263,272      | 252,505     | 10,767      |
| 経常収益計         | 149,280,444  | 35,997,677  | 113,282,767 |
| (2) 経常費用      |              |             |             |
| 本部事業費支出       | 113,633,209  | 7,565,530   | 106,067,679 |
| 採水員検査業務事業支出   | 15,137,828   |             | 15,137,828  |
| 支部事業費支出       | 3,034,813    | 3,034,813   |             |
| 保証登録事業費支出     | 903,600      | 903,600     |             |
| 浄化槽台帳整備事業費支出  | 8,035,007    | 8,035,007   |             |
| 法定検査普及事業費支出   | 16,128,218   | 16,128,218  |             |
| イメージアップ事業費支出  | 0            | 0           |             |
| 法人化30周年記念式典支出 | 0            | 0           |             |
| 管理費           | 2,654,603    | 2,654,603   |             |
| 固定資産除却損       | 0            |             | 0           |
| 貸倒損失          | 362,000      |             | 362,000     |
| 経常費用計         | 159,889,278  | 38,321,771  | 121,567,507 |
| 当期経常増減額       | △ 10,608,834 | △ 2,324,094 | △ 8,284,740 |
| 2. 経常外増減の部    |              |             |             |
| (1) 経常外収益     |              |             |             |
| 前期損益修正益       | 14,719,020   | 6,920,150   | 7,798,870   |
| 経常外収益計        | 14,719,020   | 6,920,150   | 7,798,870   |
| (2) 経常外費用     |              |             |             |
| 前期損益修正損       | 10,937       | 10,937      | 0           |
| 経常外費用計        | 10,937       | 10,937      | 0           |
| 当期経常外増減額      | 14,708,083   | 6,909,213   | 7,798,870   |
| 当期一般正味財産増減額   | 4,099,249    | 4,585,119   | △ 485,870   |
| 当期一般正味財産期首残高  | 32,790,581   | 12,045,257  | 20,745,324  |
| 当期一般正味財産期末残高  | 36,889,830   | 16,630,376  | 20,259,454  |
| II 指定正味財産増減の部 |              |             |             |
| 当期指定正味財産増減額   | 0            | 0           | 0           |
| 当期指定正味財産期首残高  | 0            | 0           | 0           |
| 当期指定正味財産期末残高  | 0            | 0           | 0           |
| III 正味財産期末残高  | 36,889,830   | 16,630,376  | 20,259,454  |



### (3) 貸借対照表総括表

平成24年3月31日現在

(単位:円)

| 科 目               | 合 計         | 一般会計       | 検査特別会計     |
|-------------------|-------------|------------|------------|
| <b>I 資産の部</b>     |             |            |            |
| 1 流動資産            |             |            |            |
| 現金預金              | 1,951,766   | 493,860    | 1,457,906  |
| 未収会費              | 398,700     | 398,700    |            |
| 未収金               | 20,334,672  | 12,974,672 | 7,360,000  |
| 流動資産合計            | 22,685,138  | 13,867,232 | 8,817,906  |
| 2 固定資産            |             |            |            |
| 特定資産              | 68,521,214  | 17,960,650 | 50,560,564 |
| その他固定資産           | 11,222,851  | 92,813     | 11,130,038 |
| 固定資産合計            | 79,744,065  | 18,053,463 | 61,690,602 |
| 資産合計              | 102,429,203 | 31,920,695 | 70,508,508 |
| <b>II 負債の部</b>    |             |            |            |
| 1 流動負債            |             |            |            |
| 未払金               | 6,647,149   | 4,579,149  | 2,068,000  |
| 短期借入金             | 12,000,000  | 12,000,000 |            |
| 前受金               | 5,692,164   |            | 5,692,164  |
| 流動負債合計            | 24,339,313  | 16,579,149 | 7,760,164  |
| 2 固定負債            |             |            |            |
| 退職給付引当金           | 41,200,060  | 950,500    | 40,249,560 |
| 保証登録審査引当金         | 0           | 0          | 0          |
| 財政調整積立金           | 0           | 0          | 0          |
| 固定負債合計            | 41,200,060  | 950,500    | 40,249,560 |
| 負債合計              | 65,539,373  | 17,529,649 | 48,009,724 |
| <b>III 正味財産の部</b> |             |            |            |
| 1 指定正味財産          |             |            |            |
| 指定正味財産合計          | 0           | 0          | 0          |
| (うち基本財産への充当額)     | 0           | 0          | 0          |
| (うち特定資産への充当額)     | 0           | 0          | 0          |
| 2 一般正味財産          | 36,889,830  | 14,391,046 | 22,498,784 |
| (うち基本財産への充当額)     | 0           | 0          | 0          |
| (うち特定資産への充当額)     | 0           | 0          | 0          |
| 正味財産合計            | 36,889,830  | 14,391,046 | 22,498,784 |
| 負債及び正味財産合計        | 102,429,203 | 31,920,695 | 70,508,508 |